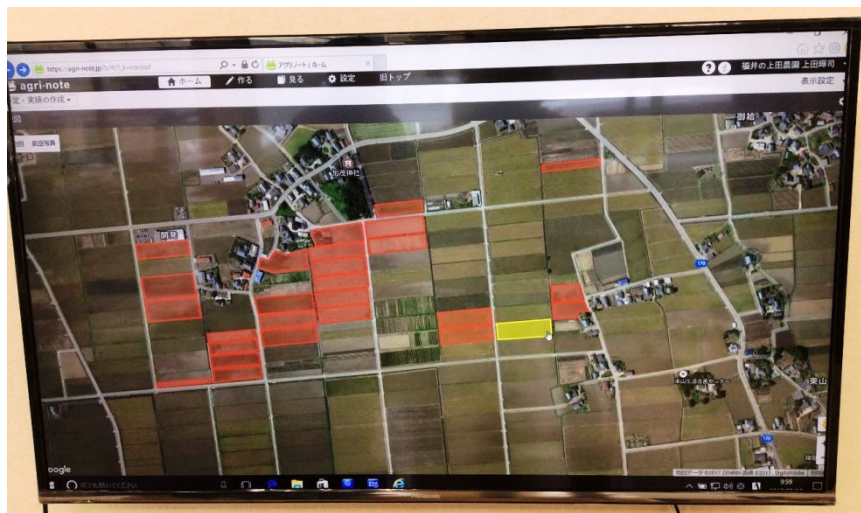


経営体の概要

- ・所在地：福井県大野市
- ・経営体名：合同会社 上田農園
- ・栽培作物・面積：水稻、大麦、大豆、サトイモ等 延べ200ha
- ・従業員数：9名(令和6年5月現在)

導入技術

- ・圃場生産管理システム
(アグリノート、ウォーターセル(株) 製)
- ・自動操舵機能付き田植機 (ヤンマー(株) 製)
- ・ドローン (スカイマティックス(株) 製)
- ・水田用自動給水機 (北菱電興(株) 製)



圃場生産管理システムの表示画面

導入経緯

- 規模拡大に伴い、管理する圃場が増えたため、圃場管理が煩雑になるとともに、管理者が従業員の作業状況を把握することが難しくなっていた。
- 圃場一筆ごとに生産管理を行うことにより、収量品質を向上させる必要があった。
- 作業の効率化による人件費の削減が必要であった。

取組の特徴・効果

- 2017年、圃場生産管理システムを導入して、作業すべき圃場をパソコン・スマートフォン上で見える化し、確認を円滑化（写真参照）。
- 一筆ごとに品種や肥料の施用量、作業の進捗を入力し、圃場ごとの生産管理をすることにより、収量、品質の向上、作業の効率化を実現。
- 2017年、GNSSにより自動操舵を行う「直進田植機」を導入。苗や肥料の補給作業にかかる人件費を削減するとともに、密苗にも取り組み、軽労化も実現。
- 2019年、農薬散布用ドローンを導入し、防除作業のコスト低減に努めている。
- 2022年、自動操舵機能付きトラクターを導入し、ジャガイモの植付およびうね立て作業の効率化を実現。